

製品名: アクチニン α 2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21009**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:104kD;Observed MW:104kD

抗原情報

遺伝子名	ACTN2/ACTN3
別名	ACTN2;Alpha-actinin-2;Alpha-actinin skeletal muscle isoform 2;F-actin cross-linking protein
遺伝子 ID	88.0
SwissProt ID	P35609
免疫原	ヒトサルコメア α アクチニンの合成ペプチド

背景

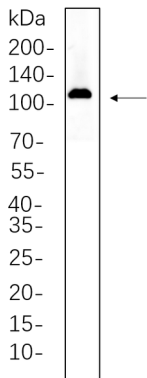
細胞局在: 細胞質、筋原線維、サルコメア、Z線。骨格筋のZ線では MYOZ1 および FLNC と共局在する。 α アクチニンは、 α スペクトリン、 β スペクトリン、ジストロフィンなど、多様な細胞骨格タンパク質からなるスペクトリン遺伝子スーパーファミリーに属す

る。αアクチニンは、様々な細胞種で多様な役割を果たすアクチン結合タンパク質である。筋細胞以外の細胞では、細胞骨格アイソフォームは微小フィラメント束や接着型結合部に沿って存在し、アクチンを膜に結合する役割を担っている。一方、骨格筋、心筋、平滑筋のアイソフォームはZ板および類似の緻密体に局在し、筋原線維アクチンフィラメントの固定に関与している。この遺伝子は、骨格筋と心筋の両方で発現する筋特異的なαアクチニンアイソフォームをコードしています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2013年5月]

研究分野

-

画像データ



H9C2 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、メンブレンをアクチニン α2 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。